

医療従事者のためのオンライン講座2025 第9回「医療安全のABC～対策編～」

宮城県内の医療従事者に向けた、医療従事者のためのオンライン講座2025年の第9回目は「医療安全のABC～対策編～」というテーマで東北大学病院医療安全推進室室長の田畑雅央先生にご講演いただきました。

薬剤の過量投与(仮想事例)

- 看護師Bは医師Aの指示書に従い薬剤Xを生食500mLに入れて点滴を開始した
- 引き継ぎを受けた看護師Cが巡回したとき、点滴バッグにはX110mLと書いてあった
- 看護師Cは直感的に「多すぎるんじゃないか」と感じた
- 指示書を見ると、**Xは110mLではなく10mL**であった

医療タスクの特徴

- 中断作業が多い
- 多重タスクである
- 制御対象(患者)の状態が異なる
- 時間的圧力が高い
- 情報の種類が多く、量が多い
- 通常状態はなく、常に異常状態である
- やるべき作業そのものが多い
- 常に危険なものを取り扱わなければならないため大きな緊張を強いられる
- 標準化が遅れている、 など

⇒ たくさんのエラー誘発要因につながる可能性のある問題が備わっている